

# 取扱説明書

## 型番：CEIAPTCO



保証期間：購入日から12ヶ月

### ●故障かな?と思ったら●

修理・メールのお問い合わせは、下記ページにアクセスしてください。

<https://www.thanko.jp/smartphone/page59.html>

または QR コードを読み込んでアクセスしてください。



### 不具合品のご送付先

〒341-0043 埼玉県三郷市栄 4-72-1  
EL 倉庫内 サンコーサポート宛  
TEL 03-3526-4328 FAX 03-3526-4329  
(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00 土日祝日を除く)  
お問い合わせメールアドレス support@thanko.jp

## 1.仕様

サイズ	[収納時] 幅 640×高さ 200×奥行 150(mm) [設営時] インナーテント：幅 2100×高さ 1200×奥行 2100(mm) フライシート：幅 2230×高さ 1250×奥行 2230(mm) [ロープ/ベグ] 長さ：約 185～207/長さ：約 160(mm) [エアポンプ] 幅 220×高さ 440～740×奥行 105(mm) [エアポンプホース] 長さ：約 1250(mm)
総重量	テント：約 2.8kg、エアポンプ：約 677g
内容品	本体収納袋、ベグ/ロープ収納袋、ベグ8本、ロープ4本、インナーテント、フライシート、エアポンプ、日本語取扱説明書
耐水圧	3000mm
素材	[インナーテント] 190D ポリエステルタフタ [フライシート] 210D オックスフォード [ベグ] 8.5mm ファイバークラス
保証期間	購入日から 12ヶ月

## 2.内容物について



- ① 本体収納袋
- ② ベグ/ロープ収納袋
- ③ ベグ8本
- ④ ロープ4本
- ⑤ インナーテント
- ⑥ フライシート
- ⑦ エアポンプ

### ●注意事項●

※空気の入れすぎにはご注意ください。破裂する恐れがございます。  
※地面が平らではないところでは使用しないでください。  
シートが破れる恐れがございます。  
※ベグを打ち込むためのハンマーと、ロープの長さ調整のための自在金具は付属されておりません。  
※ベグなど鋭利な物も含まれるため、小さいお子様などを使用する際は十分ご注意ください。  
※風の強い日のご利用は十分ご注意ください。  
※記載されている物以外は付属いたしません。  
※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。  
※製品仕様は改善のため予告なく変更する場合があります、そのため説明書記載の内容と異なる場合があります。

## 3.設営方法



1 収納袋からインナーテントを取り出し、満遍なく広げます。



2 インナーテントの入り口を正面に見て左端にある、空気穴のキャップ(上側)を回し開けます。



3 エアポンプのホースの先に付いているアタッチメントを差し込み、溝に沿って回し固定します。



4 ホースを空気穴に奥までしっかり差し込みます。



5 エアポンプ本体の「INFLATE」側にホースを回しながら取り付けます。



6 エアポンプのハンドルを持って上下運動させ空気を入れていきます。



7 インナーテントが膨らんできたら中央を上引っ張り上げると自立します。



8 十分に空気が入ったら、空気穴のキャップを閉めカバーを留め紐に通してください。



9 フライシートを上から被せ、インナーテントの入口にフライシートの入口を合わせます。(チャックが目印です)



10 フライシート内側の留め紐とインナーテント端の留め具にベグを通し地面にベグをハンマー等(別途お買い求めください)で打ち込んで固定します。(端4箇所・各1本)



11 フライシート上部の留め紐に付属のロープを結びつけ、もう片方をベグに結びつけ引っ張り、地面にベグをハンマー等(別途お買い求めください)で打ち込んで固定します。



12 ロープはたわまないよう、しっかり張ってベグを打ち込んでください。(端4箇所・各1本)

## 4. 収納方法

■設置した際と逆の手順で行なっていきます。

- ①打ち込んだ8本のペグを全て地面から引き抜きます。
- ②ロープを解き、フライシートを外します。
- ③空気穴のキャップ（根元側）を外し空気を抜きます。



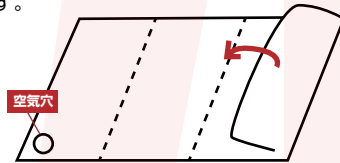
※空気が勢いよく出ますのでご注意ください。

- ④キャップの上側を外し、上下をひっくり返してゴムの弁がある方を面にして閉めます。



※ゴムの弁がある方を上にする事で、抜いた空気が逆流するのを防ぎます。

- ⑤空気穴が外側になるようインナーテントを4つ折に畳みます。



- ⑥空気穴とは逆の方から残った空気を絞り出すようにくるくると巻いていき、畳んだインナーテントを本体収納袋に入れます。



- ⑦残ったフライシートを収納袋の幅に合わせて畳み、本体収納袋に入れます。

- ⑧ペグについた汚れを払い落とし、ロープと一緒に収納袋に入れます。